

## ブリティッシュコロンビア大学短期英語研修プログラムについて

2017年度 引率教員

中部大学 情報工学科 岩堀祐之

UBC (ブリティッシュコロンビア大学) はカナダのバンクーバーにあるカナダを代表する研究総合大学であるが、中部大学はこの UBC と提携校の関係にあり、希望した学生は 8 月に 4 週間 UBC での英語短期研修プログラムを受けることができる。中部大学の筆者にとって UBC とは 30 歳のときに海外に研究指導を仰ぐ教授を見つける機会ともなった大学で、夏に 1 か月ずつの Visiting Researcher 他、1994 年には文部省在外研究員として 10 か月間留学したこともあり、最初に訪ねた 1990 年からお世話になったコンピュータサイエンス学科の教授が定年の 2015 年までの 26 年間にわたって筆者のグローバル研究活動の源になった大学である。そのような経緯もあり、今回 2017 年 8 月 6 日から 12 日の間、中部大学から全学 20 人の学生を連れて UBC に英会話研修の付き添いに行く機会に恵まれ、違う視点から UBC をみるとともに UBC の英会話研修について報告することとなった。



UBC English Language Institute  
(ELI)

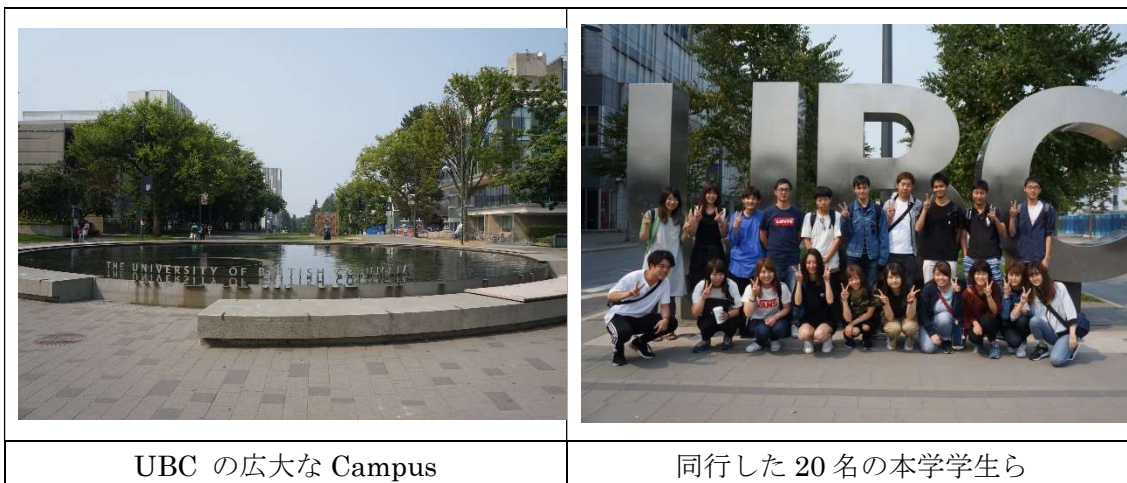


UBC ELI の Director Andrew Scales と

まず付き添いをしたのは初めての経験であったが無事に UBC に学生を送り届ける使命をもって、中部国際空港で全員が集合して飛行機に搭乗、到着後の入国審査を経て、迎える UBC 学生の案内でバスに乗り込み、いざ UBC へと向かった。UBC のレジデンスに到着すると予約において早速 1 名の名前ミスがあったが、学生は皆レジデンスで 2 日間過ごした。2 日目にバンクーバーのダウンタウンに連れていき、グランビル駅で Compass カードという通学用 IC カードを購入していただいた。バンクーバーは海あり、山あり、都会ありと 3 拍子揃った暮らしやすい街で、その日はカナダプレイス、ギャスタウン、ノースバンクーバーにシーバスで出かけたが、ほかにもグランビルアイランド、スタンレーパーク、キャピラノ渓谷など案内したいところは沢山ある。学生と 1 日楽しんだ後に翌日には英語研修のオリエンテーションに参加したが日本の様々な大学からおよそ 300 人弱の学生が同じく研修にきていることに驚いたと同時に日本人学生へのオリエンテーションは充実した内容であった。UBC ELI の Director からお聞きした話では 8 月は日本からの学生が多いが異なる

時期には別の国からという感じでまさに世界中から学生が学びにきているのに驚いた。英会話研修3日目から残りの期間はホームステイファミリーのもとで生活するが、現地のファミリーに世話してもらう際にはカナダでの生活習慣を含めてシャワーは1人10分以内とするなど、オリエンテーションでの伝達事項はいろいろあった。英語研修では能力により7レベルに分かれてレッスンを始めることに。中部大学の学生もクラスに分かれて午前と午後それぞれ2時間半程度ずつ日常英会話のレッスンを受けていた。英語力がついて楽しかったという学生もいれば、言葉が分からず辛かったという学生もいたようである。いずれにしても是非10代から20代に研修を通じて吸収されることをお勧めする次第である。何をするにもモチベーションとチャレンジ精神は若い学生にとって非常に大事な要素であり、記憶に残る有意義な結果につながればまたとない成果と言えるであろう。

バンクーバーは世界で一番住みやすい街といわれるが、筆者もかつてUBCキャンパス内のアパートに住んでいたことがあり、今回久しぶりに昔住んでいたアパートをみたときには懐かしく当時を思い出すことができた。



UBCキャンパス内ではSUB(Student Union Building)が新しくなったり正門にあたる場所にUBCのロゴなども出来て、広大なキャンパス内ではあらゆる学科の建物とともに世界中から留学生が来ているので食事も含めてグローバルな文化を楽しむことができる。付き添い業務にはそれなりの責務もあったが、海外経験がない本学学生が見聞を広めてネイティブの英語に親しむのを目にするとともに、学生との親睦を深める良い機会となったが、同行された20名の本学学生とともに貴重な経験ができたことを中部大学ならびに国際センターの方々に感謝する次第である。